

# Inetコントロールを利用した TCP/IPプログラム

ここでは、Microsoft Internet Transfer Control (Inetコントロール、ファイル名：msinet.ocx) を利用し、各種サーバーとデータ転送を行うプログラムを作成します。

Inetコントロールは、Winsockコントロールと同様に、Excel 2000 Developer、Visual Basic 6.0などに同梱されているため、プログラムを開発し配布するためにはそのライセンスが必要となります。もちろん、ライセンスがなくても、配布されたInetコントロールのプログラムを利用することはできますが、ライセンスなしにはInetコントロールを配置してダイアログを作成することができないので注意が必要です。

しかし、あらかじめVBE上でInetコントロールを配置しダイアログをデザインしたExcelのファイルがあれば、それを修正することはできるようです。

Inetコントロールを利用したマクロを含むファイルを配布する場合は、msinet.ocxも配布する必要があるため、Excelのファイルとmsinet.ocxを入手し、ダイアログや機能の修正、拡張という方法で試してみるのもよいと思います。

## 4.1 Inetコントロールの追加

Inetコントロールは、VBEのツールボックスの中で図4.1(a)のようなアイコンで示されています。

図4.2のように、ツールボックスにInetコントロールのアイコンが見当たらないときは、第2章を参考にInetコントロールをツールボックスに追加してください。

図4.1 Inetコントロール



(a) アイコン



(b) バージョン情報

コントロールを追加するときは、元からあったコントロールと区別するために、新しいページを追加してそこに集めておくことと後々の混乱を防ぐことができます。

新しいページを追加するためには、図4.3のようにコントロールと書かれたタブのあたりを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されるので、その中の[新しいページ]を選択します。

すると、図4.4のように、新しいページタブが付いたページが追加されます。図4.4のようになってしまったときは、ウィンドウのサイズを変更するときの要領で、ツールボックスのサイズを使いやすい大きさに変更してください(図4.5)。

タブの名称を変更するときは、タブの上で右クリックすると図4.6のようにポップアップメニューが表示されるので、その中の[名前の変更]を選択し、表示された図4.7の名前の変更ダイアログに入力し変更します。変更した結果は、図4.8のようになります。

図4.2 ツールボックス



図4.3 「コントロール」と書かれたタブのあたりを右クリック

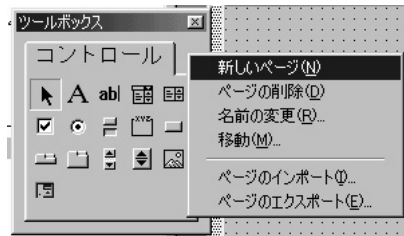


図4.4 新しいページが追加された



図4.5 ウィンドウのサイズをドラッグしてダイアログのサイズを変更

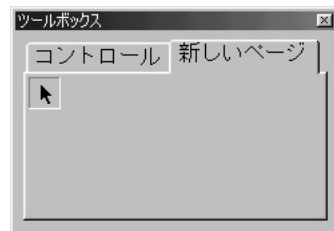


図4.6 タブの名前を変更する

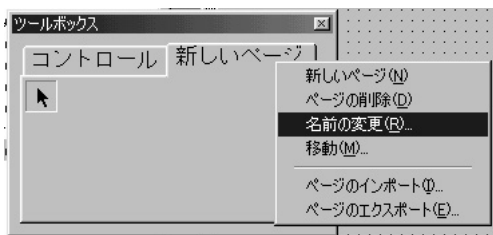
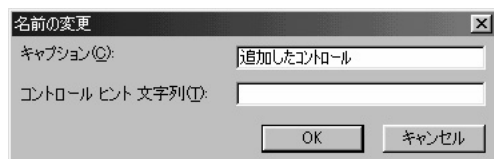


図4.7 タブに表示される文字列を入力する

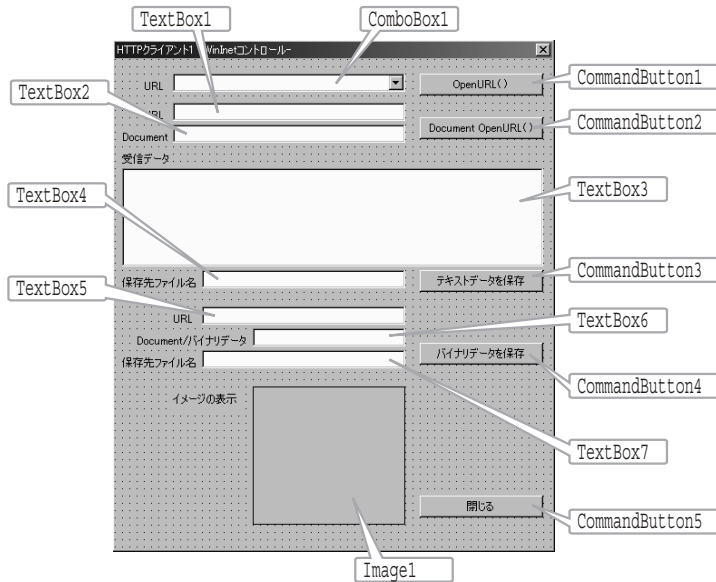


## 4.3 HTTPクライアントの作成

### OpenURLメソッドを利用する方法

OpenURLメソッドを使用したHTTPクライアントのダイアログのデザインを図4.11に示します。プログラムをリスト4.1に示します。

図4.11 HTTPクライアントのダイアログのデザイン (OpenURLメソッド利用)



リスト4.1 HTTPクライアントのプログラム (OpenURLメソッド利用)

```
Private Sub CommandButton1_Click()  
    '---- データの取得  
    Dim in_url As String URLはString型にする  
  
    in_url = ComboBox1.Value  
  
    Inet1.AccessType = icUseDefault プロキシの設定  
  
    TextBox3.Text = Inet1.OpenURL(in_url) URLの指定とデータ取得  
  
    TextBox3.SetFocus  
  
End Sub  
  
Private Sub CommandButton2_Click()  
    '----Document OpenURL()の例  
    Dim in_url As String 変数宣言  
    Dim in_doc As String 指定項目はString型で  
    Dim byt() As Byte バイナリデータ受け取りのためにByte型  
End Sub
```